

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 6 月 18 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度		
会 社 名	株式会社 北野		
住 所	〒399-9421 北安曇郡小谷村大字中小谷丙2071番地3		
代表者名	代表取締役社長 太田 喜彦		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担当部署	総務部		
担当者名	武田 一男		
連 絡 先	TEL	0 2 6 1 - 8 2 - 2 6 0 3	
	FAX	0 2 6 1 - 8 2 - 2 0 4 6	
	電子メールアドレス	k-takeda@ktnet.co.jp	
ホームページアドレス	'https://www.ktnet.co.jp/		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	7 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	500	2, 620. 5	805. 1	632. 7
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	500	2, 620. 5	805. 1	632. 7
売上高の推移 (円)	800, 000, 000	689, 607, 300	356, 368, 281	796, 695, 346

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

- ・舗装工事における合材の発注数量を事前に精度よく算出し、余剰合材の発生を最小限に抑えた。
- ・舗装工事の施工前に既設舗装の厚さを正確に測定し、切削厚・打換え厚の最適化を図ることで、切削ガラおよび廃合材の発生量を最小限に抑えた。
- ・工事完了後に余剰となった As 合材は、現場内の補修箇所・段差解消箇所等へ優先的に転用し、廃棄物としての処分をなくした。
- ・再生クラッシャーラン（RC-40）等の再生砕石を路盤工事に積極的に活用し、天然砕石の使用量削減に努めた。
- ・仮設道路・作業ヤードに使用した砕石は、工事完了後に回収し再利用を行った。
- ・路盤材として使用した砕石の転圧管理を徹底し、過剰な砕石使用や補修に伴う追加砕石の発生をなくした。
- ・As 合材・砕石のストックヤードを明確に区画し、他の廃棄物・土砂等との混合を防止する分別管理を行った。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	7年度 目標値	7年度 実績値	6年度 実績値	6年度 実績値
As合材	100	100	100	0
砕石	90	80	90	90.8
全 体				